

## 岩手県第 7 4 回原状回復対策協議会資料

### 資料 2 ワーキンググループの活動状況について

## ワーキンググループの活動状況について

### 1 活動計画

今年度第1回目の会議を平成30年5月18日（金）に開催し、原状回復事業の終了を見据え、現地での記録等の保存や環境再生についてこれまで以上に検討を行っていくためワーキング活動を活発化させていく方向性を確認した。年度内に計3回の会議を開催する予定としている。

### 2 原状回復の記録等の保存や活用関連

#### (1) DVDの配付

昨年度100枚作成したDVD「つなぐ、未来へ ～岩手・青森県境不法投棄問題～」のうち、第一次配付先として60枚の配付先を決定した。今後も、発信効果が高まるよう周知・配付していく。

配付先	配付数	区 分
岩手県環境学習交流センター	10	広報活動／貸出し用
二戸保健福祉環境センター	5	広報活動／貸出し用
岩手県立図書館	1	貸出し用
岩手大学図書館	1	貸出し用
二戸市立図書館	2	貸出し用
田子町立図書館	2	貸出し用
福岡高等学校	2	出前授業／校内視聴／貸出し
福岡工業高等学校	2	出前授業／校内視聴／貸出し
田子町CATV	1	制作協力者／広報活動
原状回復対策協議会委員	14	関係者／大学等での授業に活用
ワーキング委員	6	関係者
土壌浄化対策検討委員会	2	関係者
二戸市	5	関係機関／広報活動
田子町	2	関係機関／広報活動
環境省	1	関係機関
産業廃棄物処理振興財団	1	関係機関
青森県	1	関係機関
岩手県資源循環推進課	2	排出事業者への説明用
計	60	

#### (2) 環境学習の実施

カシオペア環境研究会及び県北広域振興局と連携し、中高生を対象として、本協議会の地元委員、有識者委員等の協力をいただき、DVDの放映を交えながら事案の発生や対応の経緯等について出前授業を行う。第一弾として、二戸市内の高校での実施を調整中である。また、例年開催しているカシオペア環境フェスティバルにおいても児童・生徒向けの周知を図る。

### 3 現場跡地の環境再生関連

#### (1) 植樹の実施

##### ア 実施概要

平成29年度はウルシ及びカラマツを植樹したが、現地環境が厳しく全てが枯死するという結果となった。今年度については、昨年度の試験で得られた知見を元に実施方法を次のとおり見直した。

項目	平成29年度	平成30年度	見直し理由
樹種・本数	ウルシ30本、カラマツ40本	ウルシ、アカマツ、ミズナラ各100本	カラマツの生育が特に不良。風に弱いウルシの保護
植樹時期	5月1日	ウルシ：4月5日 ウルシ以外：同28日	ウルシは融雪後早い時期の植樹が適当
土壌	改良なし	排水性の改良を実施	粘土質土壌での根腐れ対策
その他	気温、水分量等を測定	同左	

##### イ 実施状況（写真）



4月5日のウルシ植樹の状況。  
一旦融雪したが植樹前日に再び降雪



排水性向上のため設けた砂利層



5月下旬の状況。  
無改良地区では生育不良も見られる



改良地区では生育が比較的良好

#### (2) 利活用全体の検討

各エリアの浄化状況や地形的条件、土地利用規制等を踏まえ、現実的かつ具体的な利活用形態を整理していく。